平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名　日邦産業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9913　URL　http://www.nip.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役　社長　(氏名) 大塚 眞治
問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員　管理本部長　(氏名) 安藤 和郎　TEL 0587-98-1227
四半期報告書提出予定日　平成24年11月5日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	21,097	6.1	559	256.4	533	537.8	124	156.7
24年3月期第2四半期	19,893	△0.4	156	△74.2	83	△83.8	48	△88.0

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　216百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△101百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	13.96	―
24年3月期第2四半期	5.44	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	22,898	8,446	36.3
24年3月期	21,398	8,363	38.5

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　8,320百万円　24年3月期　8,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	15.00	15.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	14.1	900	197.2	800	329.2	300	673.8	33.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 日邦精密工業(深セン)有限公司
PT.NIPPO MECHATRONICS INDONESIA 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	9,127,338 株	24年3月期	9,127,338 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	240,164 株	24年3月期	240,154 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,887,177 株	24年3月期2Q	8,887,269 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定日等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年発生した東日本大震災及びタイ洪水災害（以下、「自然災害」といいます。）により余儀なくされた生産調整の影響をリカバリーする局面に移行しました。しかしながら、円為替相場の高止まりの問題、欧州の金融問題、新興国経済の減速等の外部環境が色濃く影響し、そのリカバリーの度合いは業界格差を生む結果となりました。

このような環境のもと、当社グループは海外市場にウエイトを置き、経営資源を再分配するとともに、業務の棚卸しを通じた経費削減をすすめてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は21,097百万円（前年同期比6.1％増）、営業利益は559百万円（前年同期比256.4％増）、経常利益は533百万円（前年同期比537.8％増）、四半期純利益は124百万円（前年同期比156.7％増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・モビリティ事業

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立品を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、海外における自動車ローンの頭金規制の影響を受けたものの、国内におけるエコカー減税、タイにおける力強い国内需要に支えられ、既存アイテムの増産と新規アイテムの受注も相まって、好調に推移しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は5,290百万円（前年同期比22.5％増）、セグメント利益256百万円（前年同期は7百万円のセグメント利益）となりました。

・エレクトロニクス事業

電子部品及びクリーンエネルギーに関連するお客様に対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しています。

当該事業の業績は、拡大するスマートフォン関連需要が、縮小する国内の半導体・大型液晶機器関連需要のマイナスをカバーする形で推移しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は6,731百万円（前年同期比1.0％減）、セグメント損失は17百万円（前年同期は65百万円のセグメント損失）となりました。

・精密機器事業

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等に関連するお客様に対して、樹脂成形品及び、同組立品を国内外で製造・販売しています。

当該事業の業績は、第２四半期に入りサプライチェーンの生産体制が回復したことにより、本格的な増産体制に移行することができました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における当セグメントの売上高4,603百万円（前年同期比7.7％増）、セグメント利益は219百万円（前年同期比47.2％増）となりました。

・住宅設備事業

住宅設備に関連するお客様に対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、ブラインド・介護用ベッドのコントローラーユニット、樹脂配管部品及び高機能材料等を国内外で販売しています。

当該事業の業績は、国内外で堅調に推移している高効率給湯器向けの樹脂配管部品、防水シート等の建築材料並びに燃料電池関連の材料・部品の新規受注も相まって、堅調に推移しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間におけるセグメントの売上高は1,714百万円（前年同期比8.3％増）、セグメント利益は65百万円（前年同期比86.2％増）となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ＲＦＩＤ事業等を含んでおります。

当第２四半期連結累計期間におけるその他の売上高は3,206百万円（前年同期比6.6％減）、セグメント利益は59百万円（前年同期比30.9％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産及び負債並びに純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて988百万円増加し13,996百万円となりました。これは現金及び預金が809百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて511百万円増加し8,901百万円となりました。これは、投資有価証券が132百万円減少したものの、有形固定資産が621百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1,500百万円増加し22,898百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて518百万円増加し10,914百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が254百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて899百万円増加し3,537百万円となりました。これは長期借入金が730百万円及び繰延税金負債が168百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,417百万円増加し14,451百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて83百万円増加し8,446百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が19百万円減少したものの為替換算調整勘定が104百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.2ポイント減少の36.3％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて808百万円の増加となり4,191百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、994百万円の資金の増加（前年同四半期は360百万円の増加）となりました。減価償却費413百万円及び税金等調整前四半期純利益413百万円の増加要因などが主な要因となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、527百万円の資金の減少（前年同四半期は928百万円の資金の減少）となりました。これは有形固定資産の取得による支出により554百万円減少したことなどが主な要因となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、342百万円の資金の増加（前年同四半期は142百万円の資金の増加）となりました。これは長期借入金の返済による支出により403百万円減少したものの、長期借入れによる収入により1,071百万円増加したことなどが主な要因となっております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、円為替相場の高止まりの問題、欧州の金融問題等の外部環境の中、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

また、世界経済を牽引してきた新興国経済の減速も懸念されるところでありますが、モビリティ事業、精密機器事業及び住宅設備事業に関連する市場は堅調に推移すると予想していることから、平成24年５月15日付公表の通期連結業績予想を維持いたします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第２四半期連結累計期間において、日邦精密工业(深圳)有限公司及びPT.NIPPO MECHATRONICS INDONESIAを新規設立したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,438,711	4,248,178
受取手形及び売掛金	7,853,613	7,847,355
商品及び製品	803,434	803,362
仕掛品	191,489	155,552
原材料及び貯蔵品	349,900	348,159
繰延税金資産	86,294	80,478
未収入金	176,332	125,425
その他	139,400	410,417
貸倒引当金	△31,263	△22,173
流動資産合計	13,007,912	13,996,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,971,447	5,309,454
減価償却累計額	△1,919,380	△2,032,295
建物及び構築物（純額）	3,052,067	3,277,158
機械装置及び運搬具	4,151,370	4,732,818
減価償却累計額	△2,935,174	△3,019,500
機械装置及び運搬具（純額）	1,216,196	1,713,317
工具、器具及び備品	499,675	529,421
減価償却累計額	△400,416	△413,370
工具、器具及び備品（純額）	99,259	116,051
土地	560,031	563,481
建設仮勘定	231,140	110,081
有形固定資産合計	5,158,694	5,780,090
無形固定資産	175,702	157,839
投資その他の資産		
投資有価証券	678,887	546,615
関係会社株式	942,295	964,894
繰延税金資産	106,328	99,593
その他	1,444,375	1,468,049
貸倒引当金	△116,097	△115,139
投資その他の資産合計	3,055,789	2,964,013
固定資産合計	8,390,186	8,901,943
資産合計	21,398,099	22,898,700

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,296,769	6,551,029
短期借入金	1,679,570	1,725,650
1年内返済予定の長期借入金	909,096	849,384
1年内償還予定の社債	130,000	130,000
未払法人税等	23,905	70,809
賞与引当金	194,533	213,496
その他	1,162,000	1,373,671
流動負債合計	10,395,875	10,914,041
固定負債		
社債	160,000	95,000
長期借入金	1,545,382	2,275,451
繰延税金負債	23,501	191,523
再評価に係る繰延税金負債	2,913	2,913
退職給付引当金	630,375	666,638
環境対策引当金	10,502	9,913
資産除去債務	51,252	49,306
負ののれん	15,862	12,003
その他	198,822	234,955
固定負債合計	2,638,612	3,537,705
負債合計	13,034,488	14,451,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	2,343,068	2,343,068
利益剰余金	4,084,652	4,075,453
自己株式	△155,249	△155,254
株主資本合計	9,410,225	9,401,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,605	48,996
土地再評価差額金	5,273	5,273
為替換算調整勘定	△1,238,647	△1,134,565
その他の包括利益累計額合計	△1,164,769	△1,080,295
少数株主持分	118,154	126,226
純資産合計	8,363,610	8,446,953
負債純資産合計	21,398,099	22,898,700

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	19,893,025	21,097,657
売上原価	17,558,752	18,306,327
売上総利益	2,334,273	2,791,329
販売費及び一般管理費	2,177,365	2,232,117
営業利益	156,907	559,212
営業外収益		
受取利息	7,151	7,276
受取配当金	6,254	5,079
仕入割引	10,727	11,715
為替差益	－	28,084
その他	48,086	25,130
営業外収益合計	72,220	77,285
営業外費用		
支払利息	50,004	68,846
為替差損	88,278	－
持分法による投資損失	－	27,575
その他	7,120	6,118
営業外費用合計	145,403	102,540
経常利益	83,723	533,956
特別利益		
固定資産売却益	11,307	5,600
投資有価証券売却益	1,166	－
特別利益合計	12,474	5,600
特別損失		
固定資産処分損	2,862	11,254
投資有価証券評価損	1,556	114,585
特別損失合計	4,418	125,839
税金等調整前四半期純利益	91,779	413,717
法人税、住民税及び事業税	50,161	101,088
法人税等調整額	△8,964	181,262
法人税等合計	41,196	282,351
少数株主損益調整前四半期純利益	50,582	131,366
少数株主利益	2,241	7,257
四半期純利益	48,340	124,109

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	50,582	131,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,647	△19,608
為替換算調整勘定	△78,699	54,721
持分法適用会社に対する持分相当額	－	50,175
その他の包括利益合計	△152,347	85,288
四半期包括利益	△101,764	216,655
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,887	208,582
少数株主に係る四半期包括利益	1,122	8,072

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	91,779	413,717
減価償却費	338,036	413,852
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,663	△10,048
退職給付引当金の増減額（△は減少）	63,662	34,927
受取利息及び受取配当金	△13,406	△12,355
支払利息	50,004	68,846
為替差損益（△は益）	161	1,561
有形固定資産処分損益（△は益）	△8,444	5,654
売上債権の増減額（△は増加）	△625,898	17,425
たな卸資産の増減額（△は増加）	△52,109	48,894
仕入債務の増減額（△は減少）	587,139	247,195
差入保証金の増減額（△は増加）	137,855	－
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△3,546	△209,671
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△129,675	△72,945
その他	21,080	157,476
小計	460,302	1,104,528
利息及び配当金の受取額	13,328	6,032
利息の支払額	△43,325	△62,930
法人税等の支払額	△69,680	△53,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	360,625	994,436
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,277	△8,746
定期預金の払戻による収入	15,748	8,336
有形固定資産の取得による支出	△972,849	△554,683
有形固定資産の売却による収入	70,725	75,603
無形固定資産の取得による支出	△18,808	△4,336
長期前払費用の取得による支出	△4,119	－
投資有価証券の取得による支出	△1,778	△1,521
投資有価証券の売却による収入	2,423	－
貸付けによる支出	△2,112	△19,800
貸付金の回収による収入	3,439	3,935
その他の支出	△22,460	△32,498
その他の収入	2,360	5,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	△928,708	△527,897

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	734,666	31,580
長期借入れによる収入	100,000	1,071,600
長期借入金の返済による支出	△467,703	△403,673
社債の償還による支出	△65,000	△65,000
リース債務の返済による支出	△26,617	△158,929
自己株式の取得による支出	△4	△4
配当金の支払額	△133,152	△132,834
財務活動によるキャッシュ・フロー	142,188	342,739
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,580	△312
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△434,474	808,965
現金及び現金同等物の期首残高	3,511,022	3,382,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,076,548	4,191,230

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	モビリティ	エレクトロニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,166,116	6,801,449	3,918,583	1,583,060	16,469,210	3,423,814	19,893,025	―	19,893,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	154,325	―	355,426	―	509,752	8,900	518,652	△518,652	―
計	4,320,441	6,801,449	4,274,010	1,583,060	16,978,962	3,432,714	20,411,677	△518,652	19,893,025
セグメント利益又はセグメント損失(△)	7,386	△65,533	149,414	35,133	126,400	45,770	172,171	△15,263	156,907

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ＲＦＩＤ事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△15,263千円は、営業外取引の調整額△13,646千円、棚卸資産の調整額4,690千円、固定資産売却の調整額△5,824千円及び貸倒引当金の調整額△483千円であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	モビリティ	エレクトロニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,151,244	6,731,498	4,301,695	1,714,360	17,898,799	3,198,857	21,097,657	―	21,097,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	139,628	―	302,142	―	441,770	7,650	449,420	△449,420	―
計	5,290,873	6,731,498	4,603,838	1,714,360	18,340,570	3,206,507	21,547,077	△449,420	21,097,657
セグメント利益又はセグメント損失(△)	256,549	△17,792	219,961	65,405	524,123	59,922	584,046	△24,833	559,212

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ＲＦＩＤ事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△24,833千円は、営業外取引の調整額△19,656千円、棚卸資産の調整額1,285千円、固定資産売却の調整額△6,943千円及び貸倒引当金の調整額480千円であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．減価償却方法の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。